



発行日：平成 25 年 5 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第 8 回海部会 WG を開催しました！

5 月 20 日に第 8 回海部会 WG が開催され、H25 年度の WG がスタートしました。

WG では、今年度の活動計画として、今年度メンバーで実施する活動の内容について話し合いました。



日時：平成 25 年 5 月 20 日（月）15:00～17:00  
場所：西尾市役所 5 階 53A・B・C 会議室  
参加者：20 名（事務局含む）

### ◆主な会議内容

#### 自己紹介を行い、メンバー同士の活動情報を共有しました



メンバーが行っている活動として、ヨットや前島を訪れるイベントを通して、子どもたちに海の良さを伝える活動や、水路のヘドロを再利用する活動などを行っているという情報が共有できました。



#### 今年度の海部会 WG の活動計画について話し合いました



今年度の海部会の活動計画について、以下の活動方針、活動内容について話し合いました。詳細な活動内容や日程については、今後の話し合うことになりましたが、海部会の目的をメンバー全員で共有でき、有意義な WG となりました。

##### 【今年度海部会の海部会 WG の活動方針について】

- ごみ・流木調査の活動を行うとともに、土砂や海、干潟の現状についての調査を行う。

##### 【今年度の活動内容について】

- ① 昨年度から、企画を進めてきたごみ・流木調査は、とりあえずプレ調査を行ってみる。
- ② 山部会との連携も考慮しながら、矢作ダムなどの土砂の現状を調査する。
- ③ 人工干潟の事例として、西浦の人工干潟の状況を調査する。
- ④ 海の現状を知るために、船により海に出て、水質の状況を調査する。

※話し合い中のご意見は裏面に記載しています。

### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 後藤  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。



## ◆話し合いでの主な意見（・意見 ▶回答）

### ●今年度の海部会 WG の運営方針について

- 海にとっては、砂の問題、水質の問題が、上流からの影響を一番受け、問題である。できること（ゴミ問題）をやっていくというだけでは、本質を外しているのではないか。（鈴木（輝））
  - ▶ 我々でできることは限られているので、それが干潟調査やゴミ調査であるのは仕方ないことだと思う。しかし、本当に重要なことを忘れてはいけないので、こういう勉強会のような場も必要だ。（青木）
  - ▶ 海そのものの勉強会はやらなければいけない。海でまだ分かっていないこと、情報公開されていないことがある。（井上）

### ●今年度の活動内容について

#### ① 流木・ゴミ調査のプレ調査について

- 流木・ゴミ調査は、実施するというので、昨年度から動いている。（青木）
  - ▶ やるならやるということで、一度やってみた方が良い。（高橋）
- 愛知県も同じような調査をされているが、調査票のようなものは統一できるか。（高橋）
  - ▶ 県の方では、調査票はまだ検討中の段階である。（石上）
  - ▶ 県の調査様式を参考に頂いているが、今後調整が必要だ。（西原）
- 海部会の調査は、流木・ゴミの出所を明らかにする、ということが目的であった。（高橋）
- 上流に向けて、発信できるデータをとりたい、ということだった。（青木）



#### ② 矢作ダム等の土砂見学について

- 以前、山の方に見学に行ってはどうか、という話が出た。山の土砂を見に行くという活動は1回入れたい。（青木）
  - ▶ いいと思う。山部会も一緒に行ってはどうか。（松井）

#### ③ 西浦人工干潟の見学について

- いま伊勢湾再生の検討部会などでも指摘されているのは、水質悪化の原因が、陸から流れ込む窒素、リンなどではなく、干潟や浅場のような浄化機能が高い生物が棲んでいる場所が失われたということだ。（鈴木（輝））
  - ▶ 人工干潟で一番良くできているのが西浦の干潟である。手前に水路があり、人工干潟をつくるなら、そうしたものがいいと思う。一度見に行けばいいと思う。（高橋）

#### ④ 貧酸素水塊の見学について

- 冬場の海はきれいだが、夏場の海はどろどろしている。なぜか。（大矢）
  - ▶ きれい、汚いは、プランクトンがいるかどうかだ。冬の東三河と西三河では、吉田の川を境に全然透明度が違う。（石川）
- 船に乗って実際にこの目で見てみると、全然違う。（高橋）
  - ▶ 国土交通省の三河港湾事務所さんに船を出してもらい、観測機器を借りて、実際にどの程度酸素がないかを見てみればいい。できれば、山の人と一緒に。（井上）



### ● その他

- 以前出てもらっていた、国土交通省の三河港湾事務所や西尾市の人にも WG に出てもらってはどうか。（井上）

## ふりかえり

会議後にご記入いただいた、ふりかえりシートの内容の一部をご紹介します。

### よかったと思うこと

本音が言えたこと/自由な話し合いができた/海に係る関連な議論で、浄化についてよくわかった/見学会も決まり、動き出した感じがする

### よくなかったと思うこと

時間不足/港湾局や西尾市の出席がなかった

### 今後取り組んでいきたい活動など

本日提案した行事の実行/現状を知る視察/漁業者の人から直接話を聞く機会をつくること/それぞれの働きを認識する

## 今後のスケジュール（予定）

### 次回 海部会第9回 WG を 6月22日（土）に開催します

今年度の活動方針（詳細）やゴミ・流木調査のプレ調査について話し合いを行う予定です。

